

ハレルヤ・ゴスペル・ファミリー コミュニティスタートパック

Using Gospel to:
DEVELOP COMMUNITIES
BUILD RELATIONSHIPS
CELEBRATE



ブラック・ゴスペル・ミュージックを通し、
日本において神と聖霊の働きを伝える



主イエス・キリストにおける信仰を通して
救いの福音を分かち合う



パートナーとなり、教会のための新
しいコミュニティを立ち上げる



03 Director's Message

Message from Ken Taylor

Content

Principles 04

日本におけるゴスペルムーブメントと教会伝道

Purpose 05

Priority

自主活動型(ディレクター主導型ではない)
人間関係重視(イベント重視ではない)
お互いを喜び合う雰囲気(競争・比較ではない)



Plan 07

計画

*Hallelujah
Gospel
Family*

10 Messages from Partners

すでにゴスペルクワイアをスタートしている教会からのメッセージ

Director's Message

➤ の10年間、HGFは様々な教派からなる40以上の教会と協力してきました。合計600名のメンバーが集められ、その80%は未信者です。結果として、ゴスペルムーブメントを通じ、たくさんの人の人生が変えられてきました。その秘訣はなんなのでしょうか？本当に大切なことを確認し、そこに焦点を当ててのです。

マタイ16章18節で、イエス様はペテロに言います。「わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます」と。つまり大切なのは、クワイアを立ち上げることで、ディレクターを中心とすることでもありません。むしろ、イエス・キリストの教会を建て上げることなのです。どのような方法があるのでしょうか？新しいコミュニティ作りから始め、セレブレーションの中でその人間関係を強めていくのです。

Ken Taylor

Main Director,

HALLELUJAH GOSPEL FAMILY (HGF)

Visit our website at www.hgfjapan.com

Principles

日本におけるゴスペルムーブメントと教会伝道 ゴスペルムーブメント

- ✔ 1990年代始めから映画「天使にラブソング」やミュージカル「Gospel」などを通して、ゴスペルミュージックが浸透
- ✔ カルチャースクールなどで、ゴスペルクワイアが編成されるようになる
- ✔ カラオケブームの終わりとも関係？

大きなチャレンジ

- ✔ クリスマンでない人々が「賛美」を歌っているという違和感
- ✔ クリスマンじゃなくても、歌ってもいいんですか？」と質問された

イエス様は何とされているでしょう？・・・

“

ルカ 19:39-40 するとパリサイ人のうちのある者たちが、群衆の中から、イエスに向かって、「先生。お弟子たちをしかってください」と言った。イエスは答えて言われた。「わたしは、あなたがたに言います。もしこの人たちが黙れば、石が叫びます。」

”

つまり・・・

神様は、賛美する人を求めている

- ✔ それがクリスマンであってもなくても。
- ✔ 私達は、クリスマンかどうか？で人々を区別しすぎているのでは？
- ✔ 神様は、等しく愛する子どもたちの賛美を喜ばれる！！

考え方を考える時！！

- ✔ 「ゴスペルで伝道」というよりは、教会と心のドアを開いてゴスペルを通して一緒に神様を賛美する
- ✔ 歌うみんなに聖霊様が働かれることを期待し、祈る
- ✔ ゴスペル共同体として生きる
- ✔ 結果として、人々がイエス様と出会う

“何故、これほどまで日本でゴスペルが盛んなのでしょうか？”と聞かれることがあります。それは、“ゴスペル”には私たちが生きるのに必要なもの一止めることのできない、人を潤す魂の喜びが含まれているからです。ゴスペルは、まさしく“現代のオアシス”になっているのです。ゴスペルを通して、多くの方々といっしょに、喜びを持って、感動しながら、生きていて良かったということができる人生でありたいと願っています。『だれでも乾いているなら、私の元に来て飲みなさい。わたしを信じるものは、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水が流れ出るようになる。』（ヨハネの福音書7章37, 38節）

Pastor Kawasaki
(FROM PASTOR KAWASAKI'S MESSAGE)

水戸聖書バプテスト教会
牧師 川崎 満

Purpose

目的

主にある健全な共同体（コミュニティー）を建て上げ、ゴスペルを歌うという賛美の中で人間関係を強めていくために、ゴスペル音楽を活用していくこと。



Priority 特徴

Community 01

自主活動型(ディレクター主導型ではない)

- ✔ クワイアを持つことが目標ではありません。むしろ、クリスチャンと未信者が定期的に会うグループとしての、新しいコミュニティ作りをスタートすることが目標なのです。
- ✔ 求道者を日曜礼拝に来させることだけが使命ではありません。それよりも、そのコミュニティの場に行って、時間とエネルギーとリソースを新しいコミュニティのために費やす教会となることが使命となるのです。
- ✔ このプログラムはディレクターにクワイアをコントロールさせるためのものではありません。そうではなく、牧師やクワイア内の他のクリスチャンのメンバーによる霊的指導(祈り、証し、メッセージなど)が必要なのです。
- ✔ コミュニティ形成は、すぐにメンバーが減ってしまうような、たくさん的人数で始めることではありません。むしろ、コアメンバーを育てて、関係を強められるように、少ない人数で始めることです。



02 人間関係重視(イベント重視ではない)

Relationship

- ✔ コンサートが目標ではありません。人間関係を築き、強めることが目標です。
- ✔ クワイア内での人間関係が深まるよう励ます(より多くのクリスチャンの参加が望ましい)
- ✔ メンバーの家族や友人にも伝わる可能性がある
- ✔ イベント開催までに築かれた関係はイベント後のフォローより効果的で、70%がリピーターとなります。(友達関係・弟子関係につながっていきます。)

お互いを喜び合う雰囲気(競争・比較ではない)

Celebration

03

- ✔ 競争し合うことが目標ではありません。多様性の中にあっても一つとなる喜びを分かち合うことが目標になります。
- ✔ 個性をもったクワイアを互いに尊重します。ディレクターもそれぞれタイプが違います。
- ✔ 家族のようにそれぞれの違いや個性を尊重し、多様性を喜びます。
- ✔ 教会や近所での地域コンサートを応援しています。 たくさんの教会が、教会の建物から出て、ショッピングモールやお祭りや学校でのコンサートを行っています。
- ✔ 合同コンサート（地域 & 全日本）は、主を賛美しお互いを祝福しあうセレブレーションのために集まります。

Plan 計画

祈りと願い

- ✔ 新しい人間関係のネットワーク（つながり）の中で用いられること
- ✔ 人間関係に加わるよう教会メンバーを励ますこと（歌わなくてもティータイムの準備や音響での奉仕）
- ✔ 人生が変えられること！
- ✔ ターゲットとなる特定の人たちに届いていくビジョンを持つこと。

たとえば・・・

Weekdays 若いお母さんたち(平日午前中)
主婦 (平日午後)
Weekends 家族(週末)
Weeknights 会社員 (平日夜)

リーダー

- ✔ 牧師（宣教師または教会リーダー） - 作戦やビジョンについての責任。牧師（または牧師夫人）もクワイアの一部として活動することが必要。
- ✔ コーディネーター - 運営・管理。メンバーとのやり取り。具体的な計画。
- ✔ ディレクター - 音楽のみ担当(チームに教えることのできる人)



小さく始めて、大きく育てる

- ✔ はじめは、5人ぐらいからでも可能。
- ✔ 一つのクワイアだけでは成立するのは難しいとしても、他のHGFクワイアと協力することで、「大きなクワイアの一部」となることも可能。
- ✔ 少しずつ仲間が増えれば、コミュニティが広がり、クワイアとしても成長していく。

提供されるもの

- ✔ 質の高いプログラム（本物のブラックゴスペルを教える）
- ✔ ストレスのない楽しい雰囲気（曲は完璧でなくても、歌うことを楽しむ）
主を賛美する礼拝（セレブレーション）の体験
- ✔ （レッスンには、交わり、賛美、メッセージ、祈りの時間がすでに含まれている）
- ✔ 教会でのバイブルスタディや英語レッスンなどの機会を作る別の集まり

頻度

- ✔ 各学期で7～10回のレッスン(1回2時間) - 8曲を学び、最後にコンサートを行うのには、これで十分。
- ✔ 1月2回 - 隔週で会うには忙しいという人たちにとって、ほどよいペース。レッスンが待ち遠しくなる。戦略的にも、毎週より1月2回が、長期的にわたる人間関係を築くのによいペースとなる。
- ✔ 休みをとる - メンバーは休みなしだと疲れてしまう。夏休み(7月&8月)と冬休み(1月&2月)をとることがお勧め。メンバーはリフレッシュでき、また自分たちのコミュニティや人間関係が恋しくなる。
- ✔ 70%のメンバーが戻り、コミュニティが広がっていくことが期待される。

宣伝

- ✔ ゴスペルに興味を持っているのはみなさんの近所に住むノンクリスチャン。地元のお店に広告を掲載。(カラオケボックス, ミュージックストア, 新聞折り込み, パド, ちらし, 駅にポスター掲示)
- ✔ 他の教会を通して宣伝するのは避ける。その教会が脅威に感じることもある。
- ✔ 携帯のQRコードを全ての宣伝に利用する。

参加費

- ✓ 参加費の設定。メンバーはより専念するようになる。合理的な価格の決定。ある教会では二つのクワイヤがあり、それぞれ違う参加費を設定。（例えば、働いている人の集まりvs. 主婦の集まり）。
- ✓ 収入の発生。他のアウトリーチ伝道と違って、収入をもたらす。この資金を、宣伝・クワイヤイベント・他の関連費用(リソースやディレクター講師料など)に用いる。

Hallelujah Gospel Family

各教会へのサービス&サポート

- ✓ 教会のディレクターとコーディネーターへのトレーニング
- ✓ 選曲と役に立つ記事・お祈り・ニュースが掲載されたテキスト
- ✓ ディレクターとコーディネーターのための楽譜・アレンジメント & カラオケ
- ✓ アドバイス&励まし
- ✓ 各クワイヤ内の人間関係を強める
- ✓ ウェブサイトと携帯コミュニティ
- ✓ 特別ワークショップの優先的スケジューリング
 (レイ・シドニー, グレゴリー・フーパー, ケン・テイラー, その他)

合同コンサート

- ✓ 場所、プログラム、ボランティア・ミュージシャン&スタッフの用意
- ✓ 地域での無料コンサート(発表会)
- ✓ 募金収入の100%をチャリティーとして寄付する



Message メッセージ

すでにゴスペルクワイヤをスタートしている教会からのメッセージ

牧師&宣教師より

Pastors & Missionaries



私達の思いや願いを遥かに超えて、神様は、人の力では決して出来ない、神様の御業をなして下さっています。ゴスペルを歌うだけではなく、心に色々な思いや叫びを持って集われた、大切な人達に出会うことができます。ゴスペルを通して、心癒され、励まされ、ゴスペルが、日本人の心にも、言葉を超えた強いインパクトを与えるものである事を、改めて感じています。

クワイアとして一步一步成長していると共に、ゴスペルの本質である福音を理解して心から受け入れている方も増えていると感じています。ゴスペル英語と聖書の時間を始めたり、聖書の学びや礼拝にクワイアの参加者が増えたりして、私たち一人一人がゴスペルの喜びと希望に癒されて変えられていると感じて感謝しています。

コーディネーターより

Coordinators



全て手探りでスタートでした。しかし、教会に一度も来た事のない方々も実に大勢集って下さり、一緒に楽しくゴスペルを習い、歌うことができました。神様ご自身がドアを開いて下さったのだということを、改めて実感させていただきました。一緒に歌うことで、ちょっと前までは知らない同士だったメンバーの皆さんが、まるで前からのお友達のように親しくなれたことも本当に嬉しい体験でした。このように楽しくゴスペルを学び、歌えるような枠組みが用意されていることに感謝しています。

ゴスペルを始めて2学期目に入りました。初めは覚える曲の量に圧倒されていましたが練習していくうちに曲の持つ言葉の意味や力強さが少しずつ自分の中で消化されていき、今では気がつくとゴスペルの曲を口ずさんでいるようになりました。ゴスペルを歌う中で心癒され、励まされ、コンサートも毎回すごく楽しくて、皆が1つになって歌う一体感にいつも感動を覚えています。人の力では決して出来ない、神様の御業を体験しています。

メンバーより *Members*



はじめは、ただ歌っているだけでした。イエス様を信じ、お祈りをするうちに、心にぽっかりと温もりを感じるようになりました。そして、イエス様が私達を救ってくださったのだと知ってから、歌っている言葉も意味も心にしみこんできます。今はゴスペルがすごく楽しいです。英語が苦手な私がゴスペルを始めるなんて考えられませんでした。今、この場にいられるのは、イエス様のお導きだったんだと思います。

最初は単に歌うことを楽しむために参加したのですが、普段の生活で子育てなどに悩み立ち止まるたびにゴスペルソングの言葉が思い浮かび、自己嫌悪に陥る私を助けてくれました。やがて、私が我が子を愛するように神様はあるがままの私を愛してくださるのだと考えるようになりました。これからもそんなゴスペルを続けて歌っていきたいと思います。もちろん存分に楽しんで！

問い合わせ：

Email: hgfjimu@yahoo.co.jp

ホームページ： - <http://hgfjapan.com>

電話 & Fax: 042-458-7107

住所：東京都東久留米市新川町1-2-12 松川プレイス #107